

委員会だより

< 6月12日(日) 11名出席 >

1. 行事予定

- 要理学校・誕生会(4・5・6月生まれ)
6月19日(日)ミサ後 <今後年4回実施予定>
- 藤沢教会50周年記念第5地区教会巡礼(7月3日)
 - ①原宿コース 原宿教会→戸塚教会→中和田教会
 - ②中和田コース 中和田教会→戸塚教会→原宿教会⇒ ①コース 中和田教会への来訪は午後2時頃
②コース 中和田教会では9時ミサに合流

2. 審議事項

①バザー関連

第2回バザー委員会は日程を調整中

②敬老のお祝い関連

- 9月18日(日)に実施予定。(ミサ、記念撮影、祝賀会)
⇒ マリア会例会は第1日曜日に移動
ヨゼフ会例会は別途検討する
- 対象は、75歳以上の信徒及びご家族
- お祝い品贈呈は、75歳になられた方のみとする
- 対象の方には案内状をさしあげる。

3. 委員、グループより

①典礼

- ・典礼グループをさらに次の小グループに分け、リーダーを置く。・・・ミサ進行、香部屋、侍者、朗読、聖歌・オルガン、生花
- ・7月からミサ曲は、1番も使う。
- ・香部屋に各種聖具の名前を掲示して分かりやすくする。

②財務

- ・財務内容は、概ね順調に推移している。
- ・予ねてからマリア会の方々に手伝っていただいているが、さらにヨゼフ会の山田さんに銀行での出入金業務を担当していただくことになった。

③布教

- ・区民クリスマスにつき、今年は信徒の自主参加とする。

④要理

- ・クラス割りを行ない、小5・小6・中学クラスを高野神父様、小3・小4クラスは井上さん、また就学前・小1・小2クラスはお母さん方が担当することになった。
- ・7月30・31日に一泊で夏季学校を行なう。なお、31日(日)のミサは子どもミサとする。(8月7日のミサは通常ミサとなる)
- ・要理学校は、第1、第3日曜日が勉強(高野神父・渡邊神父)、第4日曜日は小谷さんによるハーモニカ練習で運営する。
- ・若手男性の方の要理グループへの参画をお願いしたい。ご協力を！

⑤営繕

- ・玄関ガラス戸に注意喚起テープ貼りつけ、網戸張替え、ガラス工事発注を実施。
- ・福島・鶴田さんのご尽力で、子ども用靴箱を利用したの各種案内状入れが設置された

⑥ガーデンファーム

- ・バザーその他に提供されている「畑の実り」のために、水道の水を自由に使うていただくことになった。

マリア会だより

< 6月19日(日) 30名出席 >

1. マリア会関係

- ・要理学校の夏季学校に一万円を寄付する旨了承。



- ・9月例会は9月4日(第一週)に行う。
- ・広報8月号の原稿を募集。
- ・会員の方でご病気の方々を御存知の方はお知らせ下さい。例会時にお祈りしたいと思います。
- ・新集会室2階にて古着の販売を実施。

2. 行事係より協力要請

裁断済みのエプロン、枕カバーを縫ってくださる方

3. 広報係より 掲示物等広報に関する協力者募集

石川さんに決定。

4. お掃除係より 夏場は祭壇の花も枯れやすいので、気づかれた方は捨てて下さい

5. 阿部さんより 婦人同志会の報告

- ・横浜教区女性の会『パスカ』(過ぎ越し、復活の意)に名称変更されたことと活動予定が報告されました。
- ・会の主な目的は高齢司祭の為の基金を集めること

【次回例会は7月17日(日) 当番はD地区】

ヨゼフ会だより

< 5月22日(日) 12名出席 >

- ヨゼフ会の運営方針について、ここ数回の討議を纏めたものを中心に話し合った。話し合った内容は次の通り。
- ・他宗教との交流については、軸(内側を充実)をしっかりした上で他と交流してはどうか。それでなければ長続きしない。
 - ・急に変革するのではなく、柔軟に、スローでもいい、少しずつ定着させていくことが必要。
 - ・皆が気軽に参加出来るようなイベントを計画し、若者の参加を促す。
 - ・共同司牧については鈴木神父の指導を受け実施に移したい。
 - ・いままで漠然とミサにあずかっていたが、「先唱」をやることによりミサに対する理解が深まった。
 - ・グループ中心の活動が定着しつつある現在、ヨゼフ会も側面から積極的に支援していく。
 - ・若い世代や中堅世代は仕事の関係上中々教会行事に参加出来なかったが、「臨機応変に相互補完していく」方向がうちだされたので参加しやすくなる。
 - ・人には得手、不得手があるが経験することにより克服できるのでは。
- 今後の具体的行動計画につき次回以降検討していく。

< 6月19日(日) 15名出席 >

- ヨゼフ会運営指針の具体化の議論(5月の続き)
今月は『他宗教との交流』を中心に話し合いました。議論のポイントのいくつかをご紹介します。
- ・何故『他宗教との交流』を行うのか、... まずはこの意味を皆で明確に理解・確認したい。(ただ”友好”だけでよいのか? 聖霊のはたらきは? 我々自身の活性化に繋がるのか?)
- ・我々自身の『信仰の軸』をはっきりすることが先決であろう。
- ・教区全体としての方向付けを、是非主任司祭から伺いたい。(註: 鈴木神父様とお話し合い会を、別途企画予定(委員会/マリア会/ヨゼフ会))
- ・『交流会』云々と名付けてしまうと、気持ちの上で身構えてしまうのではないかと?
- ・神父様が常駐されなくなった現在、”交流”の進め方も個人ベースにせざるを得なくなっている。『軸』に加えて具体的な運営も皆で考えていかなければならない。
- 中和田教会ホームページの説明会を開催
- 9月度ヨゼフ会例会は、9/4(第1日曜日)に開催



広報 なかわだ 第314号

7月の予定

委員会	7月10日
夏季学校	7月30-31日
ヨゼフ会、マリア会例会	7月17日



2005年7月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成17年7月3日



でもどりですが・・・

パウロ 高野 哲夫



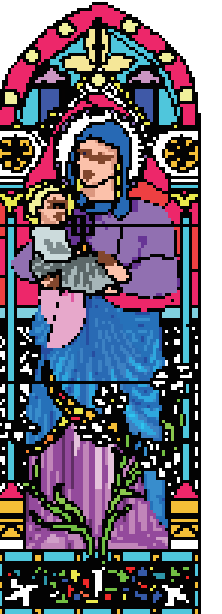
司祭叙階を受ける前、つまり助祭としての一年間、実習先として土曜日と日曜日に中和田教会にお世話になり、沼津教会での司祭叙階式の時は、貸切バスに乗って来ていただきました。ありがとうございました。一年だけの関わりなのに、沼津までわざわざ来てくださるなんて・・・これこそ「神業だ!」と思っていました。

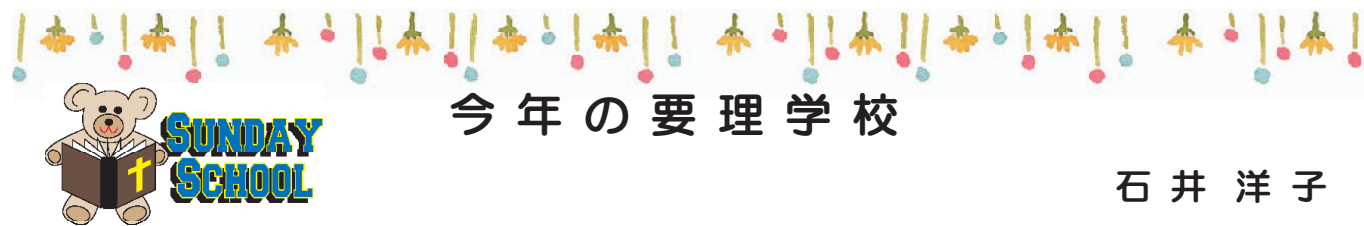
それから一年間、私は司教館に入り事務局の仕事の手伝いをしながら、横浜教区(神奈川、静岡、長野、山梨)の小教区を訪ねて回りました。

一年が過ぎ、これから小教区に派遣されるというとき、中和田教会に派遣されるという事は考えてもみませんでした。司教様から「藤沢・中和田教会の助任司祭として・・・」という任命を受けたとき、正直驚きでした。それと同時に、自分の中では新たな地に派遣されるという感覚ではなく、なんか元居た場所に戻っていくような感覚でした。

任命を受けてから初めて中和田教会でミサを捧げ終わったとき、皆様から「おかえりなさい」という言葉をかけてくださったことを今も覚えています。・・・「おかえりなさい」・・・すばらしい言葉ですね。何か、人の心を「ホッ」とさせる言葉です。放蕩息子は、父親の「おかえりなさい」の一言で、「赦し」と「絆」、そして父からの「愛」を確認したことでしょう。

私たちも、「おかえり・・・」と言ってくれる父なる主に信頼して、この旅路をイエス様とともに歩み続けたいを思います。でもどりですが、これからよろしく願いいたします。





今年の要理学校

石井 洋子

6月から新たな要理学校が正式にスタートしました。幼児～1年生、2年生～4年生、5年生～中学生の三つのグループに分かれて、お勉強を始めました。その他に、楽しいレクリエーションもたくさん取り入れようと進めています。

そのひとつとして、先日、4月～6月生れの子どもたちのお誕生会をしました。司会、進行はすべて子どもたちに任せました。ケーキとジュースとお菓子で大盛り上がり。クライマックスは渡邊神父様のすばらしいパオイリン演奏。子どもたちは静かに聞き入っていました。

要理学校のよい所は、もちろん、神様の元で皆が一つになることですが、もう一つの長所は、横のつながりだけではなく、縦のつながりが強くなる所だと思います。高学年のお兄さん、お姉さんたちが、ごく自然に幼児や低学年の子どもたちと触れ合い、面倒を見てあげる……。そんな光景にも神様の愛を感じるような気がします。普段の園や学校生活にはない、とてもよい場だと思います。

7月には一泊二日の夏季合宿が予定されています。子どもたちは首を長くして、とても楽しみにしているようです。高野神父様、井上先生をはじめ、私たち親たちも、よい合宿になるようにがんばって計画を立てています。子どもたちの笑顔が絶えない合宿にしたいと思っています。



こんなボランティアをしています

岩崎 好愛



みなさんの中には、個人として、または地域の方々といっしょに、いろいろな形でボランティア活動に携わっている方がたくさんおられることと思います。

ここで、すでにご存知の方も多いでしょうが、中和田教会の有志で始められ、もう25年以上続けられているボランティア活動を紹介させていただきたいと思います。

ひとつは、「白百合ベビーホーム」での洗濯物たたみの仕事。もうひとつは、「聖母の園老人ホーム」でのベッドのシーツ交換や居室の掃除などの仕事。

「聖母の園」の方は、もう主のもとに召された花坂一さんや下山千代子さん、そして今もお元気な丸田綾子さんなどが始められたのがスタートで、その頃は、現在の場所ではなく、もっと修道院に近い場所であって、今よりは比べ物にならないくらい狭くて古い建物でした。その後、今の新しい建物になった時は、廊下も広く、居室も明るく開放的で、ボランティアにとっても働きやすい環境になりました。

以来、婦人会の有志のみなさんの参加はもちろん、教会以外の友人方にも声をかけていただいて協力者が増えて（この中から受洗者も生まれました！）、毎月第1と第2木曜日を中和田教会が担当、第3と第4木曜日は原宿教会、戸塚教会が受け持つて続けられてきました。

一回のシーツ交換は、60から80床分。それに15くらいある居室の掃除機かけをします。時代の経過とともに、教会も最近では若い方が少なく、仕事をもっておられる方も多いため、ボランティアもご多聞にもれず平均年齢が上がり、だんだん引退される方も出てきて、少々ムリをしなくてはならない状況になってきています。しかし、入居のみなさんが少しでもよいサービスが受けられるように、職員の方たちの手助けになればとの思いに駆られて、現在のメンバーはがんばっています。



「合同祈祷集会」報告

竹内 廣治



「私はすべての共同体にお願いします。エキュメニカルな会合や対話で有効な行動を起こし、キリストの弟子の完全な一致という賜物を神に祈り願ってください」

（教皇ヨハネ・パウロ二世1月16日昼の祈りより）

かねてからのゲルニエ神父様と聖公会・横浜聖クリストファー教会の片山司祭との交流の中で、両教会による合同祈祷集会のお話が生まれ、キリスト教一致祈祷週間を機会として、信徒のみなさまの理解を得て、双方が訪問しあう形で2回の交流を続けました。

その後、さらに両教会から夫々準備委員＜ゲルニエ神父、竹内、阿部（寿）＞を選び、礼拝典礼とかの具体案や交歓会のあり方などの検討を2回ほど行ない、その日に備えて教会委員会、ヨゼフ会、マリア会にもご協力をお願いしました。

カトリック中和田教会、聖公会・横浜聖クリストファー教会合同祈祷集会

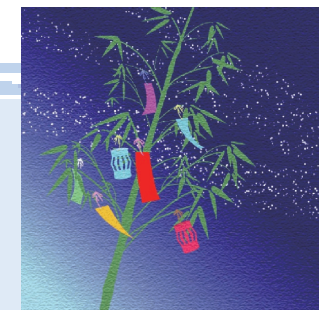
日時：2005年2月6日（日）午後2時より集会、その後親睦茶話会

会場：中和田教会

多数のご参加を得て、豊かな恵みと交わりのうちに終了しました。感謝！

お知らせ

- ① 毎週金曜日に以下のとおりミサが行なわれています。
第1金曜日（初金ミサ） 午前10時より
その他の金曜日 午後2時より
- ② 7月30・31日は要理学校の夏季学校が行なわれます。
7月31日（日）のミサは、「子どもと共に捧げるミサ」となります。
- ③ 「カトリック新聞」を集会室の書棚のところにまとめて置いてあります。
ご自由に閲覧してください。（広報）



ミサ当番表（2005年7～8月）

月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉納	オルガン	侍者	先唱者	準備係
7/3	石井(大)	石原(知)	美底(さ)	森脇(知)・石原(未)	美底(さ)	石井(知)・石井(つ)	束原	中谷・青柳
7/10	小谷	岩崎		竹内・横塚	森田	森脇(未)・石井(未)	福島	井上・大原
7/17	宮崎	花坂	岩崎	宮崎・位田	岩渕	美底(さ)・石原(未)	森脇(信)	大宮・松尾
7/24	森脇(信)	阿部(映)		森脇(信)・永田	保科	石井(大)・永田	大宮	下村・松下
7/31		阿部(寿)	阿部(映)	・松尾(し)	美底(さ)	石井(知)・内田	富田	中谷・青柳
8/7					森田	美底(か)・石井(未)	清水	井上・大原
8/14	富田	上野		富田・宮崎	岩渕	石原(知)・森脇(留)	竹内	大宮・松尾
8/21	伊丹	松田	大宮	伊丹・清水	保科	石井(大)・石井(つ)	小野寺	下村・松下
8/28	上野	小野		上野・七浦	森田	森脇(未)・美底(か)	束原	中谷・青柳